

なんぴろ

2007年1月29日
第5号



私たち亥年生まれです。頑張ります！

目次

- 年頭所感「変えないために変わる」 1
- 診療科コーナー「脳卒中は予防が肝心」 2
- 看護部コーナー 3
- 医療連携コーナー 4
- この人紹介コーナー 5
- ためになる話 6
- みなさんのご意見コーナー 7
- 平成18年のトピックス 8・9
- 外来診療日程表 10
- 第4回子どもスケッチ大会優秀作品 11

日本医療機能評価機構(一般B)認定病院

県立日南病院

〒887-0013 宮崎県日南市木山1丁目9番5号

TEL 0987-23-3111

FAX 0987-23-5142

<http://www.pref-hp.nichinan.miyazaki.jp/>

Eメール:nichinan-hp@pref.miyazaki.lg.jp

年頭所感「変えないために変わる」



病院長 脇坂 信一郎

明けましておめでとうございます。皆様お揃いで良き初春をお迎えになったこととお慶びを申し上げます。

昨年は4月の地方公営企業法全部適用に伴う病院局の発足に始まり、8月の中期経営計画の策定、10月の病棟再編と7:1施設基準獲得、年末には当院独自の中期経営計画アクションプランの検討を開始しましたが、県の激震まで起こったことはまさに青天の霹靂でした。

患者数減少と病床利用率低下の傾向により、身の丈に合った病棟・病床数にするということにしました。残念なことでもあり職員の士気の低下が心配されたのですが、それを払拭するように11月には恒例の県立日南病院祭が実行委員の努力により明るく楽しく盛大に執り行われました。数多くの地域の方々や宮崎大学医学部学生にも参加して頂いて、「地域に密着した病院にしよう」、「地域に愛され信頼される病院にしよう」、「今後とも安定的・継続的に質の高い高度な医療、安心安全の医療を提供できる病院にしよう」という当院の姿勢を理解して頂いたものと思います。

自治体病院の経営改善には職員の意識改革が先ず求められるのですが、幸い当院の職員の意識は高く、会議や委員会でも建設的な意見を出して貰っています。お陰様で平成18年度の決算見込みでは、医師不足などにより医療収益は伸び悩んでいるものの、それを上回るコスト削減により、中期経営計画の平成18年度目標値を上回る赤字削減を達成出来る見込みです。これはまさに職員が一丸となって経営改善に取り組んで頂いたお陰であり、職員は大いに自信を持って誇りに思っています。

中期経営計画では、その進捗状況は外部有識者を含む評価委員会により半期毎に評価さ

れ、平成17年に策定された「宮崎県立病院の今後のあり方について」の提言を踏まえて、「平成21年度から各県立病院毎に、収支の状況やその他の運営状況、更には圏域の医療事情等も総合的に勘案しながら、経営形態についてさらに検討を行うこととし、平成23年度を目途にその医療を提供するに相応しい経営形態（全適の継続、地方独立行政法人化、公設民営化、民間移譲）を選択する。」となっています。

平成18年度は予想以上の改善を達成できそうですが、医師不足状態や周囲の医療状況は当院にとってなお厳しいままです。もし平成19年度以降に経営改善が伸び悩んで、当院が民営化の道を選ばざるを得ないように追い込まれた場合はどうなるでしょう。民間資本が参入すれば当然ながら利潤の追求が第一義的になり、合理化の名目と拙速な黒字化のために不採算部門は真っ先に切り捨てられることが予測されます。

公的医療機関が赤字になっている大きな原因は、地域の中核病院の使命として、民間では出来ない不採算医療や政策医療を提供しているからです。もし当院が民営化されれば救急医療、周産期医療、その他地域のニーズの高い医療や診療科も存続は困難になるでしょう。病院が当面黒字化されても地域の方々が困窮するのでは真の医療とはいえず、当院は地域の方々から見放されることになりかねません。まさにそうならないために、当院が地域の公的中核病院として存在する意義や他の医療機関との役割分担を明確にし、医療連携を密にして、全適を維持したまま経営を改善することが必要です。そしてそのためにも、当院自身の体制や職員一人ひとりの経営意識が変わらねばならないのです。

2007年元旦

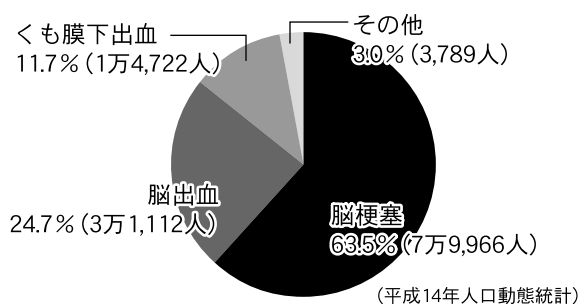
■■■■ 脳卒中は予防が肝心 ■■■■



脳神経外科医長
米山 匠

脳卒中とは脳血管が詰まったり破れたりして起こる病気の総称で、専門的には脳血管障害、脳血管疾患といいます。平成14年の統計によると、日本人の死亡原因のうち脳卒中は悪性新生物(がん)、心疾患に次いで第3位になっています。死亡総数は全体の13.2%で、12万9,589人でした。その内訳は以下の通りです。

脳卒中(脳血管疾患)による死亡



医学の進歩や知識の普及などにより脳卒中は少しずつ減少していますが、後遺症なども含めて深刻な問題であることに変わりはありません。発症後に出来ることには限りがあり症状がすべて改善するわけではありません。そのため脳卒中を如何にして予防するかが大切になってくるのです。

脳卒中予防のための7項目

【1】普段の血圧を知る

血圧コントロールが何よりも大切です。成人であれば一般的に140/90mmHg以下が目安といわれています。血圧計を購入して出来れば毎日、せめて週に2-3回測定・記録し、基準値を超えているようであれば内科医に相談しましょう。

【2】急激な温度差を避ける

寒い時期の発症率は、暖かい時期の1.5倍ともいわれます。外出時には防寒に留意し、風呂、トイレなどは暖房器具で暖かくする工夫も必要です。

【3】ストレスをため込まない

ストレスがかかると交感神経が緊張し血圧上昇、脈拍増加などが起きます。ストレスを消し去ることは現代社会では難しいことですが、自分なりのリラックスする時間を作りましょう。同様の理由で過労・睡眠不足を避けることも重要です。

【4】塩分を控える

塩分摂取が過剰になると血圧上昇に繋がります。日本人は一日平均11~12gの塩分を摂取しているといわれていますが、10g以下(高血圧の人は7g以下)が理想です。

・こいくち醤油(大さじ1)2.6g ・塩鮭(一切れ)1.1g ・カップめん(一人前)5.0g ・梅干し(1個)3.3g ・みそ(大さじ1)2.0g

【5】お酒は適量を守る

お酒は適量であれば血圧を下げ、リラックス効果もあるといわれていますが、飲みすぎると高血圧、糖尿病、肝機能障害などを誘発します。1週間に400g以上の飲酒者は非飲酒者に比べて脳卒中の発症頻度が2倍になるといわれています。以下にアルコール飲料に含まれるアルコール量を示しますので参考にしてください。

・缶ビール350ml 18g ・焼酎1合(20度) 36g ・ワイン(14%)700ml 98g

【6】タバコはだめ!

喫煙は血圧上昇、動脈硬化促進、HDL(善玉)コレステロール減少などの原因となります。また非喫煙者に比べて喫煙者の脳卒中発症のリスクは1.5~2.9倍あり、またこれに高血圧が加わると10~20倍になるといわれています。お金を払って病気になるのはやめましょう。

【7】適度な運動をする

運動は血圧や血糖値の安定やLDL(悪玉)コレステロールの減少に繋がります。一日30分くらいのウォーキングが効果的です。

以上のようなことに気をつけて、元気に長生きしましょう。

看護部トピックス

～看護部コーナー～

今回は手術室・5階西病棟です。



5階西病棟

看護師長 山田正子



手術室

看護師長 宮浦順子

手術室は3階中央に位置し、6つの部屋があります。14名の看護師は手術室看護の充実を目指して頑張っています。



「冷たい」「寒い」などの不快を与えないように、保温した暖かいバスタオルやタオルケットの使用や、寝台にはファーストマットというフカフカのマットを敷き患者さんを迎えています。また術前訪問を行ない手術室の説明をする際、好みの音楽や入室時の要望を聞き、手術中の苦痛のない体位などにも心がけています。

平成18年病院祭では、地域の皆さんに初めて一部の手術室を開放し191名の見学がありました。



病院祭での見学の様子

「こんな手術室で安心して手術が受けられることを知人にも教えてあげたい」「少し大変さが分かった」などの意見があり、手術室への理解が得られたように感じ励みになりました。

平成18年10月の病棟再編に伴い、脳神経外科・皮膚科・耳鼻科の病棟から、脳神経外科・外科・放射線科疾患が主の混合病棟になりました。

病棟移動の際は大変ご迷惑をかけました。スタッフも数名が院外や院内異動となり、病棟の雰囲気も少し変わった感じもしますが、ますますチームワークもよく、患者さんやご家族の気持に沿うような看護ケアに努めて行きます。



ラウンド中

5階西病棟では、患者さんのところへラウンドしながら申し送りを行なっています。



朝礼前

寝台での風呂のスペースはどこの病棟より広いのが特徴です。また病棟からの外の景観は日南海岸や油津・吾田地区も一望することができます。

医療連携コーナー



「医療・介護の様々なサービスをご存知ですか？」

医療連携科では、患者さんの様々なご相談にMSW（医療ソーシャルワーカー）と看護師長（退院調整、看護相談担当）の2名が、各々の専門性を活かしつつお応えしています。

連携科では、退院調整（患者さんが当院を退院する際に発生する様々な問題を解決して、退院後も良い療養環境を継続して提供できるようにする取り組み）を年間150件程度扱っていますが、そのなかで感じられるのが患者さんや家族など一般市民の多くの方々が、医療や介護のサービスをご存じないということです。

例えば次のような事例が経験されます。

- 退院できる状態なのに、介護保険受給の申請が行なわれていなかったために、退院直後からサービスが受けられない
- 介護保険料を払っているが、その内容がわからない
- 患者さんが自宅退院を希望されているが、家族が通所介護等のサービスが利用できることを知らないために、自宅療養は無理だと信じ込んでいる
- 患者本人の金銭管理に不安がある

当院では、退院後介護保険受給対象になりそうな方には、申請が可能な段階で早めに介護保険申請をおすすめしています。また家族の皆様との面談のときに連携科看護師長が皆様の不安や心配をお聞きして、それを解決するサービスの情報提供もおこなっています。金銭管理が不安な場合には、社会福祉協議会のあんしんサポート（金銭管理援助）がありますし、患者さんの状況によっては成年後見人制度の活用が必要になる場合もあります。

連携科で各種サービスをご説明すると、「知らなかった」とおっしゃるかたも多いですし「もっと早く教えてほしかった」とのお叱りをうけることもあります。患者さんの状態に応じて情報提供に努めていますが、患者さんや家族の方にももう少し関心を持っていただけると、より適切なサービスを紹介できると考えています。

医療介護サービスは、病気にかかったときに初めて関心を持つものですが、日頃から少しでも知っておくだけでいふんと違います。もちろん患者さんの状態（介護度）によって使えるサービスが異なりますし、内容が多彩なのでわからないことが多いのは当然でしょう。ですから不明な点などありましたら当院医療連携科・医療相談室までお気軽におたずねください。専門スタッフが説明いたしますし、当相談室スタッフでお答えしかねる場合には専門部署をご紹介します。

皆さんそれぞれがお支払いになった税金や介護保険料等で運用されている制度です。ぜひとも関心を持っていただきたいと思います。

医療相談室へのご相談方法

場所は1階外来食堂向かいです。直接お越しになっても構いませんが、病棟看護師等から事前に連絡をしていただくとお待たせする時間が短くなります。

電話でのご相談は0987-21-1637（直通）へどうぞ。

（医療連携科 木佐貫 篤）

この人紹介 コーナー



平成17年3月から院内の看護補助員が全員新しいメンバーになりました。今回はその21名の中から6階東病棟で勤務している中山美喜子さんにインタビューをいたしましたので紹介します。



看護補助員の中山美喜子さん

Q この仕事のきっかけはなんですか？

A 主人の両親の介護が必要になったときに便利だと思い、ヘルパー1級の資格を取ったところ、80過ぎても元気なので、せっかくの資格を生かそうと考えたからです。

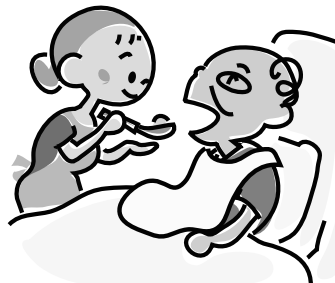


6階東での入浴介助の様子

Q 仕事に対する気持は？

A やり甲斐があります。

物品の後かたづけ等の大変さは最初から承知しての事ですが、患者さんと接しているときや病気のことを相談されたときに「あの看護補助員と話ができてよかった。また話したい」と思って頂けるように心がけています。



Q 入浴介助は大変でしょう・・・？

A 県病院は設備が整っており入浴介助にしてもやりやすいです。しかし、さすがに仕事から帰ったらぐったりですが、病院に来るとシャキッとしますね。



中山さんへ 6東看護師長より



次のことを考えながら行動している人。何事にも前向きに積極的なので助けられています。

看護職員募集について

当院では、看護職員（看護師・准看護師・看護補助員）を募集しています。

○看護師・准看護師の免許を有している方 ○看護補助員の方は、資格不要です。
業務内容は、主に入院患者さんの看護ケア等です。

研修を行い、支援いたしますので、しばらく現場を離れている方も安心しておいで下さい。

お問い合わせ先 看護部 総看護師長 まで
電話 0987-23-3111 (代表)

ためになる話 NO4

"モチベーションを上げる12の方法"

今回で4回目の"ためになる話"は『仕事におけるモチベーションを上げる12の方法』について特集してみることにしました。

1. 1番欲しいものやりたいことを決める

人の欲しいものはいろいろある。自分のやりたいこともある。欲しいものとやりたいことを縦に優先的に書きはっきりさせておく。

2. 目標に向かって進む

第一の欲求を満たすためにエネルギーを使う。とにかく自分の目標のために時間を作る。目的に向かって進んでいるとストレスは少なくなる。

3. 自分を認め人も認める

同じ人間でも動機や目的は自分とは違う。違うことは悪いことではない。違いを知るとは自分を認め相手を認めることにつながる。周りに振り回されない。

4. 課題を見つける

課題は目指すものが何かが分っていないと見つけられない。課題は目標であり、モチベーションを維持するものである。課題を持って達成を目指す。これが繰り返されていくことは楽しいことだと思えると良い。

5. いつも一生懸命

一生懸命やることはすぐに成果が出なくても勝率を高めることにつながる。その時に成果が出なくても将来的に長い期間で勝率が上がることは間違いない。

6. 「できない」という思い込みからは何も生まれぬ「どうしたらできるか」を考える

人間は思っている以上に能力を持っているもので、こんな事ができたらいいな—という発想や思ったことを行動した人がいたから新しい物が生まれた。先入観では自分の可能性も広がらない。

7. 支持率100%はあり得ない

人から100%支持はあり得ない。八方美人的に気を遣いゆらぐより、まっすぐに「これです」のほうが人も迷わないだろう。

8. 迷ったら足元を見る

落ち込んだり、疲れ悩んでいるときは自分の本幹が見えなくなる。シンプルにしてできることから一つずつきちんと行なう。どうしてもできないならやめることを考え、1~3年先でも良い。やる気をなくし無駄な時間を使っている場合ではない。

9. 責任があるから発言する

そこにいる人には責任は必ずある。責任があるから意見を言う。給料が少なくても人間関係が悪くてもそこにいた以上新人でも上司でも責任はある。

責任があるからチームのモラルを良くしていきたい。良い環境にしていきたい、と思うようになる。

10. 管理者は刺激的であれ

マンネリ化した空気を変えるには監督を変えるのが一番手っ取り早い方法と言われている。違う刺激が入ることで周りが目覚め力を発揮する。ほめられれば伸びてもそれが続くと慣れてくる。叱られるのも同じである。管理者は完璧である必要はない。

11. 部下の1番を知る

部下の求めていることを知る。全ての人を満足させることは難しいが、それに近づける工夫はできる。

12. 部下を大人として扱うべし

指導者は人を育てるとき成長の点と点でつなげていくような指導が大事である。全員に「・・・さん」をつけて呼ぶ。相手は大人で一生懸命やっている人と思いつける。



みなさんのご意見コーナー



当院では、患者さんのより良い医療環境づくりをめざして、患者さんやご家族などの来院者の方からご意見を伺い、それらへの対応を院内とホームページで公表しています。

ご意見の対応に係る公表は、皆様方との信頼関係を築く上で、大変重要なことと考えていますが、個人を中傷するものや具体的な内容の記述がなく調査もできないご意見が多く寄せられており、その取り扱いに苦慮しております。

今後、ご意見をいただくときは、具体的に、建設的なご意見(できれば名前も記入)をお願いします。

みなさんのご意見への回答(平成18年10月~11月分から)

○外にある椅子が破れていてすわれません。木の椅子にしたら良いと思う。

●正面入口外のバス停前の椅子のことと思います。クッションの長椅子2台のうち1台がスポンジを覆うシートが破れていて見苦しくなっておりました。早速、木の椅子と交換いたしました。

○父の入院中、しばらく付き添いをしておりました。病室にはパイプ椅子があるのですが、毎日泊まるとなると横になれる場所がほしいので、レンタルの長椅子か簡易ベッドがあるといいのと思いました。また、テレビの下にカード式の冷蔵庫を置いてはどうでしょうか。

●付き添い用のレンタルベッドは、当院の売店にて貸し出しをしておりますが、今回は情報提供がもれていたものと思います。今後、付き添いのご家族の方に情報提供を徹底して参ります。
また、病室への冷蔵庫設置につきましては、以前にも同様の要望があり検討いたしました。しかし、冷蔵庫のモーターの音が気になって眠れない患者さんもいるとのことでしたので、病室には冷蔵庫を設置しておりません。今後とも入院環境の整備に努めて参ります。

○病棟では、毎日、体も拭いてくれず、患者をほったらかしにしているように思えます。また、入院患者への声かけも少ないように思います。

●清拭などの業務については、治療方針や患者さんの状態など個々の事情があり病棟で判断し実施しております。今後は患者さんやご家族のご意見を聞いて、できるだけご要望に添えるようケアの計画を立てて参ります。また、「声かけ」が少ないとのこと指摘については、スタッフ一同で接遇について話し合いをし、患者さんへ積極的に「声かけ」をし、一人一人思いやりをもって患者さんへ接するよう再確認をしました。

○食事がはっきり言って楽しくありません。同じものの繰り返しで、正直まずいと思います。

●当院の食種は患者さんの病状に応じ約50種類ほどになっており、食種によっては、食品の使用制限や調味料の制限があるものもあります。患者さんの嗜好も様々で、毎日大変おいしいというご意見もあれば、まずいと言ったご意見もあります。患者さん全員の嗜好にあうメニューの提供は難しい面もありますが、治療に影響しない一般食の患者さんには、水曜日及び金曜日の朝食と昼食の副食を選択できる日もあり、入院中の楽しみも味わっていただけるよう工夫もいたしております。また、献立については、毎日、スタッフで検食し、味、色彩、量について検討もいたしておりますので、ご理解をお願いします。

女性の健康を応援します

当院では、女性が安心して健康に関する相談ができるよう女性専用外来「わかば」を開設しています。

専任の女性医師が診療・相談に応じます。

診療日時は毎月第3金曜日午後1時から4時まで

予約及びお問い合わせは TEL:0987-23-8011 までお願いします。



平成18年のトピックス

T QM活動で最優秀賞

3月20日県立宮崎病院で開催された、診療機能の充実や患者サービスの改善等病院の経営改善に向け、職員が自主的に調査・研究するTQM活動県大会で、当院の「ためしてカイゼン隊」（代表：中央材料室田中看護師長）が最優秀賞を、「ぬっきーず」（代表：地域医療連携室木佐貫医長）が優秀賞を受賞しました。

脇坂新院長が就任

4月1日付けで第7代院長に宮崎大学脳神経外科学教授の脇坂信一郎氏が就任されました。

電子カルテの導入

5月1日から病院運営・経営の効率化のため、電子カルテを導入しました。

「皮膚科」から「皮膚科・形成外科」に変更

7月3日から「皮膚科」を「皮膚科・形成外科」にしました。ただし、「形成外科」は毎週火曜日と毎月第2・第4水曜日は休診で、また毎週「木曜日」は手術日のため予約のみの診療です。

宮崎県病院事業中期経営計画を決定

8月29日、宮崎県病院最高会議が宮崎県庁講堂で開催され、病院経営の健全化をより一層図り、高度で良質な医療を効果的、安定的に提供するために、平成18年度から平成22年度までの5年間の計画期間とする宮崎県病院事業中期計画が決定されました。

入院基本料の施設基準の変更

平均在院日数の短縮により急性期医療の充実を図るため、10月1日から入院基本料の施設基準を「10対1」から「7対1」に変更しました。

子どもスケッチ大会の実施

10月5日、日南市立桜ヶ丘小学校の5・6年生を対象に、第4回「私たちの県立日南病院」子どもスケッチ大会を実施しました。また、優秀作品を11月24日から12月8日まで院内展示しました。（優秀作品の一部を本紙12ページに掲載しています。）



子どもスケッチ大会



作品展

クリスマスコンサートの開催

12月25日「患者さんと病院職員や地域のみなさんとの交流を深めるとともに、患者さんに癒しの場を提供し、早期の病気回復を図る」ため、第5回クリスマスコンサートを開催しました。



職員混声合唱団



看護師長合唱団



日南学園合唱部

第8回県立日南病院祭

11月26日県立日南病院祭を開催しました。小雨が降るなど生憎の天候でしたが、館内・外とも熱気でいっぱい。

第8回となる今回は、病院職員はじめ地域のみなさんや宮崎大学医学部・県立看護大学・日南学園看護専攻科や日南看護専門学校の学生のみなさん、それに日南消防署のご協力も得て、大変にぎやかな病院祭となりました。ご来場頂いた方からのアンケートにも「ためになった。」「とても楽しく過ごせた。来年もまた来たい。」などの声がたくさんありました。



桑水流ファミリーの民謡



血圧検査



日南カトリック幼稚園児



医学体験教室



高校生カッシーのマジック



手術室を見てみよう



救急車試乗体験

◆上記の他宮崎大学医学生企画展（患者・看護師・医師の気持展など）、職員の総合作品展、フリーマーケットや物産販売などたくさんの催しもので1日中にぎわいました。

今年の縁起物のみこしは、「龍」で、名前は「辰(たつ)ちゃん」です。当院では3年前から宮崎大学医学部の学生さんたちが学園祭で制作したみこしを譲り受け、1月中エントランスホールに展示しています。1年目は「鯛」、2年目は「七福神」でした。

「龍」の大きさとできばえに、患者さんはじめ来院のみなさんもびっくり。患者さんが早く良くなりますよう祈っています。

《平成19年の縁起物のみこし》



外来診療日程表(週間)

平成19年1月

2階

小児科	月	火	水	木	金
1 診	石井	石井	石井	石井	石井
2 診	澤	澤	澤	澤	澤
午後	予約・急患				

耳鼻咽喉科	月	火	水	木	金
1 診	下園	下園	下園	下園	下園
検査日		午後		午後	午後
手術日	午後		午後		午前

眼科	月	火	水	木	金
1 診	斉藤	斉藤	斉藤	斉藤	斉藤
2 診	川原	川原	川原	川原	川原
検査日		午後	午後		午後
手術日	午後			午後	

泌尿器科	月	火	水	木	金
1 診	新川	新川	新川	新川	新川
2 診	高森	高森	高森	高森	高森
検査日				○	
手術日		○			

皮膚科 形成外科	月	火	水	木	金
1 診	帖佐	帖佐	帖佐	手術日	帖佐
2 診	江良		*江良	*	江良

※予約のみ(9:30まで)
※形成外科は火曜日 *第2・4水曜日は休診

産婦人科	月	火	水	木	金
1 診	蓮田	稲森	西内	稲森	西内
2 診	春山		春山		春山
3 診	稲森	西内	稲森	西内	蓮田
手術日		○	○		

※思春期外来 金曜日15時
※わかば(女性外来) 第3金曜日完全予約制

1階

内科	月	火	水	木	金
初診	林	石原	深江	生島	石崎
再診				深江(午後)	生島
再診	平塚	平塚	平塚	石原	石原
再診		石崎(午後)		石崎	深江(午後)
再診	生島	林(午前)	パースマーカ 外来(奇数月) 生島・林	HOT外来 今井(午後)	林
内視鏡					押川
透視	石原	深江	石原	深江	深江
気管支鏡		平塚・今井 (午前)		平塚・今井 (午前)	
心カテ (午後)		生島 林・坂元			
UCG		生島		林・坂元	
急患 (午後)	石原	深江	平塚	林・坂元	今井
手術	シャント 石原 深江		パースマーカ 生島 林・坂元		

外科	月	火	水	木	金
1 診	市成		和田		市成
2 診	峯	種子田	峯	種子田	峯
3 診	米井				
手術日	○	○	○		○

※外来手術(月・午後) 透視(木) 内視鏡(火・木)

脳外科	月	火	水	木	金
1 診	脇坂	池田	池田	脇坂	脇坂
2 診	米山	米山	米山		米山
手術日				○	

整形外科	月	火	水	木	金
1 診	長鶴	川野	長鶴	松岡	長鶴
2 診	松岡	上通	松岡	上通	川野
特殊外来			○		○
手術日	午後	午後		午後	午後

神経内科	月	火	水	木	金
診察			山下	塩見	

精神科 心療内科	月	火	水	木	金
	現在休診中				

放射線科	月	火	水	木	金
診察		山本		柴	
検査日	○	○	○	○	○

編集後記

☆経営計画アクションプランがようやくまとまった。この計画が「絵に描いた餅」にならないよう、具現化に向け職員一人ひとりが自分のこととして考え、行動することが求められている。

☆今年の干支は亥(イノシシ)であるが、当院には20名ほどの亥年生まれの職員がいる。そのうちの12名のみなさんに本年最初の「なんぶう」の表紙を飾って頂いた。中国や台湾の干支はイノシシではなくブタだそうであるが、この年に生まれた子供は金運に恵まれると言われ、人口(出産)の増加が予想されているようである。果たして日本ではどうだろう。

◇本年がみなさんやご家族のみなさん、そして県立日南病院にとって素晴らしい年でありますように。

そして、本年も「なんぶう」をよろしくお願ひします。

(広報編集委員会)

第4回「わたしたちの県立日南病院」 子どもスケッチ大会 優秀作品

最優秀賞



第5学年 まえだ ともり
前田智雄さん

最優秀賞



第6学年 おがわ まりな
尾川満梨奈さん

優秀賞



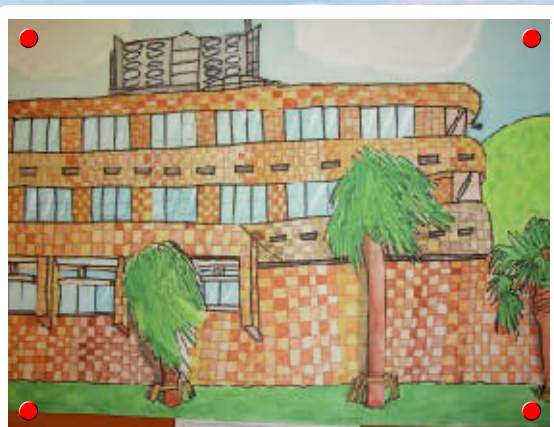
第5学年 おかもと こうき
岡本功稀さん

優秀賞



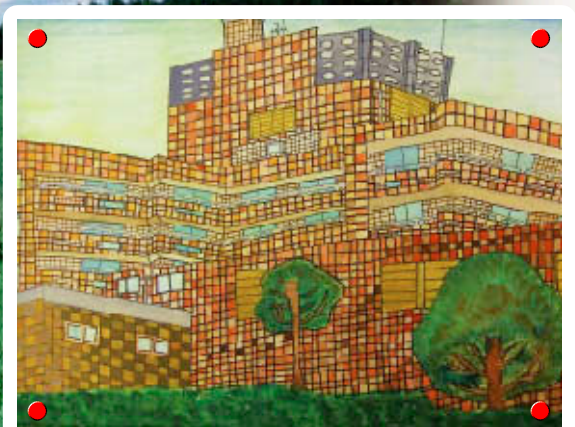
第6学年 たかの ゆりえ
高野由理恵さん

優秀賞



第5学年 たに じゅんせい
谷純生さん

優秀賞



第6学年 はしぐち じゅんや
橋口純弥さん

※今回は平成18年10月5日、日南市立桜ヶ丘小学校の5・6年生のみなさんに描いて頂きました。